



出雲医療看護専門学校

小・中・高校生から専門学校生、大学生まで、若い人たちの意見を集めるコーナー「ヤングこたま」(日曜日掲載)です。今回は出雲医療看護専門学校、学校、学級単位での投稿を募っています。投稿希望の学校は「ヤングこたま」係・電話0852-2223305までご連絡ください。

将来の夢実現に向けて努力

臨床工学技士学科

2年 玉木絵梨奈

「医療機器を取り扱うスペシャリスト」という言葉を見て、私はより臨床工学技士の仕事に興味を持つようになりました。高校のとき、担任の先生が勧めてくださいました。本校のパンフレットに載っていた言葉でした。

もともと私は機械に触れることが好きで、工業校がなぐ、経済的なこと

感謝の気持ちの大切さ学ぶ
2年 城下 真穂
昨年5月、私たちは「文化芸術同好会」を結成しました。文化を学び感性を豊かにすることから進学を諦めていました。そのとき、本校が開校することを知り、パンフレットや学校見学を通して夢を実現しようと入学しました。

年上、高齢者の方に学ぶ

言語聴覚士学科

2年 坂本 修平

言葉遣いや態度について、月1度、私の学科では外部からお越しいただく高齢者の方々の交流会があります。初めは年上の方とのコミュニケーションは緊張しましたが、時間をかけて相手の方を尊重することで次第に接し方も分かり、礼儀も学ぶことができました。

苦しみ患者さん楽に笑顔に

理学療法士学科

2年 梶谷 遙

理学療法士学科 実習では臨床現場を見学しました。理学療法士野は、基礎知識がない私にはとても難しく思えましたが、共に学ぶ仲間がおり、分かりやすく指導

から進学を諦めていました。そのとき、本校が開校することを知り、パンフレットや学校見学を通して夢を実現しようと入学しました。臨床工学技士は人工心肺装置や血液透析などに携わり、医療機器を通して患者さんの命に直接関わる重要な仕事です。本校は設備が新しく、学ぶには最適だと思えます。将来の夢の実現に、毎日の講義に真剣に取り組むたいと思います。

このような現場を見学することで、人を笑顔にできる仕事は素晴らしいことだ。あらためて実感しました。私が理学療法士学科に入学したのは、苦しんでおられる患者さんを少しでも楽にしてあげたい、笑顔にしてあげたいという気持ちからです。その気持ちを出して頑張ります。

問の先生やさまざまな方たちの協力があったおかげという事に気がきました。また、活動を通して、相手に対して感謝の気持ちを持つことの大切さを学ぶことができました。これからもっと活動の幅を広げていくために、さまざまな文化を学び、同好会で共有していきたいと思えます。これから、コミュニケーションが上手にできるようになるために、「見る」「聴く」「伝える」に心を込める努力をしたいと思えます。

勉強以外では礼儀作法には見習うところがたくさんあります。高校までは同じ年代と過ごしてきたので、あいさつなどの基本的なこともほとんどできていなかったように思います。しかし、年上の方と過ごしていくうちに